

第 1 期

(2025年 12 月 8 日 ～ 2026年 3 月 31 日)

事 業 報 告

計 算 書 類

附 属 明 細 書

AICHI ウォーター株式会社

事業報告

(第 1 期)

自 2025 年 12 月 8 日
至 2026 年 3 月 31 日

AICHI ウォーター株式会社

1. 会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過

当期におけるわが国経済は、ウクライナや中東情勢の影響を多大に受け、原料資材価格の高騰をはじめ、不透明な状況が続いております。

豊橋浄水場は、1967年に豊橋市の浄水場として完成し、その後の1970年に東三河水道用水供給事業として県営事業を発足させたことを機に、豊橋市から愛知県に移管された施設であります。現在では、県が東三河地域の3市（豊橋市、豊川市、新城市）を対象に1日当たり約8万m³を給水し、地域の暮らしに欠かせない水道施設となっておりますが、豊橋浄水場の施設は、供用開始から50年以上が経過していることから、主要構造物の老朽化が進行し、耐震化も必要な状況であります。このため、愛知県は、豊橋浄水場の施設について、全面的な再整備事業に着手することとし、2023年5月29日に豊橋浄水場再整備についての計画概要を公表しました。

この計画概要では、豊橋浄水場の現敷地内に、浄水場の運用を継続したまま、施設の設計・建設・撤去による再整備を行うことになっております。

実施にあたり、民間事業者が持つノウハウや創意工夫を活用したPPPによる「豊橋浄水場再整備等事業」を公募し、運営権者として、インフロニア・ホールディングスを代表とした10社の出資により、2025年12月8日にAICHI ウォーター株式会社（以下、「当社」という。）を設立いたしました。

愛知県は本事業における考慮すべき課題を、①施設の老朽化・耐震性不足への対応、新たな施設への改築、②浄水場施設におけるカーボンニュートラルの実現、③豊橋市（隣接する小鷹野浄水場）との連携推進の実施と捉えており、当社は当課題の解決方策として、「AICHI モデル」を提唱しております。「AICHI モデル」の概要は以下となります。

Aqua-infra	安全・安心な水基盤
Innovation	前例に捉われない先進技術の採用
Crisis management	強靱な基盤と体制の構築
Hybrid energy	水素利活用・カーボンニュートラルへの貢献
Integration	上下水道一体で流域管理、東三河経済圏への貢献

官民連携の水道事業モデルになることを目指し、事業を展開していく所存でございます。

(2) 資金調達の状況

2025年12月に株主より27,000万円を調達いたしました。同時にインフロニア・ホールディングス株式会社より株主ローンとして、20,100万円の借入れを実施いたしました。

(3) 財産および損益の状況

区 分	第 1 期 (当事業年度)
売上高 (千円)	97,261
当期純利益 (千円)	△4,792
1 株当たり当期純利益 (円)	△177.50
総資産額 (千円)	492,924

(4) 対処すべき課題

特に現時点ではございません。

(5) 主要な事業内容

【事業期間共通】

- ・ 統括運営業務（統括管理、セルフモニタリング、水素技術の検討及び導入等）
- ・ 関連施設業務（小鷹野浄水場と共同使用する施設に関する業務）

【再整備期間】

- ・ 豊橋浄水場再整備業務
- ・ 豊橋浄水場、豊橋南部浄水場運転管理、場外管路維持管理

【運営期間】

- ・ 豊橋浄水場、豊橋南部浄水場、場外管路運営業務

(6) 主要な営業所等

本社：愛知県豊橋市岩屋町字岩屋下 96 番地 2

(7) 従業員の状況（2026 年 3 月 31 日現在）

従業員数：4 名

2. 株式に関する事項

- | | |
|--------------|-----------|
| (1) 発行可能株式総数 | 270,000 株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 27,000 株 |
| (3) 株主数 | 10 名 |
| (4) 株主 | |

株主名	持株数	持株比率
インフロニア・ホールディングス株式会社	13,770	51.0%
株式会社東芝	2,700	10.0%
FCC Aqualia S.A.	2,700	10.0%
株式会社エステム	2,700	10.0%
株式会社 NJS	1,350	5.0%
水道機工株式会社	1,350	5.0%
株式会社サーラコーポレーション	1,215	4.5%
株式会社フソウ	810	3.0%
株式会社大場上下水道設計	270	1.0%
神野建設株式会社	135	0.5%

3. 会社役員に関する事項

(1) 取締役及び監査役の氏名等（2026年3月31日現在）

会社における地位	氏 名
代表取締役社長	大塚 淳
取締役	東山 基
取締役	稼農 泰嘉
取締役	木村 太一
取締役	狩野 修
取締役	オスカー・ペレーズ・ガルシア
取締役	塚越 亨
監査役	西口 義郎

(2) 当事業年度に係る取締役および監査役の報酬等の額 なし

4. 会計監査人の状況

(1) 名称

EY新日本有限責任監査法人

以 上

第 1 期

(2025 年 12 月 8 日 ～ 2026 年 3 月 31 日)

附 属 明 細 書

AICHI ウォーター株式会社

1. 会社役員その他の法人等の業務執行取締役等との重要な兼職の状況の明細
(2026年3月31日現在)

会社における地位	氏 名	主な兼職状況	
		会社名	主な兼職
代表取締役社長	大塚 淳	インフロニア・ホールディングス(株)	総合インフラサービス戦略部 部長
取締役	東山 基	前田建設工業(株)	専務執行役員
取締役	稼農 泰嘉	前田建設工業(株)	中部支店長
取締役	木村 太一		
取締役	狩野 修	(株) 東芝	社会システム事業部水・環境システムPPP事業開発部シニアマネジャー
取締役	オスカー・ペレーズ・ガルシア	FCC アクアリア社	コンセッションマネジャー
取締役	塚越 亨	(株) エステム	執行役員
監査役	西口 義郎	前田建設工業(株)	事業ファイナンス部 部長

第 1 期

計 算 書 類

自 2025年 12月 8日
至 2026年 3月31日

AICHIウォーター株式会社

貸借対照表

(2026年 3月31日現在)

AICHIウォーター株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資産の部		負債の部	
流動資産	(470,440)	流動負債	(26,717)
現金及び預金	358,341	未払金	12,331
売掛金	106,987	未払費用	12,460
前払費用	5,103	未払法人税等	499
未収入金	8	未払消費税等	1,395
		預り金	30
固定資産	(22,484)		
有形固定資産	(1,634)	固定負債	(201,000)
建物附属設備	1,634	長期借入金	201,000
投資その他の資産	(20,849)		
長期前払費用	18,746		
繰延税金資産	2,102		
		負債の部合計	227,717
		純資産の部	
		株主資本	(265,207)
		資本金	135,000
		資本剰余金	135,000
		資本準備金	135,000
		利益剰余金	(△ 4,792)
		その他利益剰余金	(△ 4,792)
		繰越利益剰余金	△ 4,792
		純資産の部合計	265,207
資産の部合計	492,924	負債及び純資産の部合計	492,924

損 益 計 算 書

(自 2025年12月8日 至 2026年 3月31日)

AICHIウォーター株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額	
売上高		97,261
売上原価		9,250
売上総利益		88,011
販売費及び一般管理費		30,483
営業利益		57,527
営業外収益		
受取利息	75	
雑収入	7	83
営業外費用		
支払利息	272	
繰延資産償却	64,148	64,421
経常損失		6,810
税引前当期純損失		6,810
法人税、住民税及び事業税		85
法人税等調整額		△ 2,102
当期純損失		4,792

株主資本等変動計算書

(自 2025年12月8日 至 2026年 3月31日)

AICHIウォーター株式会社

(単位：千円)

	株 主 資 本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		株主資本合計	
		資本準備金	その他 利益剰余金	利益剰余金 合計		
			繰越 利益剰余金			
当期首残高	-	-	-	-	-	-
当期変動額						
新株の発行	135,000	135,000			270,000	270,000
当期純損失			△ 4,792	△ 4,792	△ 4,792	△ 4,792
当期変動額合計	135,000	135,000	△ 4,792	△ 4,792	265,207	265,207
当期末残高	135,000	135,000	△ 4,792	△ 4,792	265,207	265,207

【参考】キャッシュ・フロー計算書

(自 2025年12月8日 至 2026年 3月31日)

AICHI ウォーター株式会社

(単位：千円)

科 目	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益 (△損失)	△ 6,810
減価償却費	21
受取利息	△ 75
支払利息	272
繰延資産償却	64,148
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 106,987
前払費用の増減額 (△は増加)	△ 5,103
未収入金の増減額 (△は増加)	△ 8
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△ 18,746
未払金の増減額 (△は減少)	11,043
未払費用の増減額 (△は減少)	12,460
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,395
預り金の増減額 (△は減少)	30
未払法人税等 (外形標準課税) の増減額 (△は減少)	425
小計	<u>△ 47,933</u>
利息の受取額	75
利息の支払額	△ 272
法人税等の支払額	△ 11
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 48,142</u>
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 368
繰延資産の取得による支出	△ 64,148
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 64,516</u>
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	201,000
株式の発行による収入	270,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>471,000</u>
IV 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	<u>358,341</u>
V 現金及び現金同等物の期首残高	<u>—</u>
VI 現金及び現金同等物の期末残高	<u>358,341</u>

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法を採用しております。

(2) 収益及び費用の計上基準

当社は、愛知県との特定事業契約に基づき豊橋浄水場及び豊橋浄水場の管理等に係る施設（豊橋南部浄水場、取水施設、導水管路等）の統括運營業務を行っております。

当該取引は、契約に基づき役務を提供するため、役務提供に応じて履行義務が充足されるものと判断しており、役務提供の完了に応じて契約において約束した金額で収益を認識しております。

(3) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

繰延資産の処理方法

創立費…支出時に全額費用処理しております。

開業費…支出時に全額費用処理しております。

2. 貸借対照表に関する注記

(1) 有形固定資産の減価償却累計額 21 千円

(2) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務

長期金銭債務 201,000 千円

3. 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引以外の取引高 272 千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式の総数

普通株式 27,000 株

5. 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

未払事業税 131 千円

未払費用 990 千円

繰越欠損金 980 千円

繰延税金資産小計 2,102 千円

評価性引当額 — 千円

繰延税金資産合計 2,102 千円

繰延税金負債

繰延税金負債合計 — 千円

繰延税金資産の純額 2,102 千円

6. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、株主からの出資及び借入によって資金を調達しております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

令和8年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、預金、未収入金、未払金、未払費用及び預り金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：千円）

区分	貸借対照表計上額	時価	差額
①売掛金	106,987	105,692	△ 1,295
②長期借入金	201,000	200,821	△ 178

注. 金融商品の時価の算定方法に関する事項

①売掛金

債権額を、満期までの期間及び信用リスクを加味した利率を基に割引現在価値法により算定しております。

②長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率を基に割引現在価値法により算定しております。

7. 関連当事者との取引に関する注記

(1) 親会社及び法人主要株主等

（単位：千円）

種類	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社	インフロン ア・ホール ディングス 株式会社	被所有 直接 51.0%	資金の借入	資金の借入 (注1)	201,000	長期借入金	201,000
				利息の支払 (注1)	272	—	—
主要株主 (会社等)	株式会社エス テム	被所有 直接 10.0%	業務の委託	運転・維持 管理業務 事前準備業 務委託 (注2)	9,250	未払金	10,175

(注1) 資金の借入については、市場金利等を勘案し、利率を合理的に決定しております。

(注2) 業務の委託については、一般取引先と同様の条件をベースに交渉の上決定しております。

(2) 兄弟会社

(単位：千円)

種類	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
親会社の子会社	前田建設工業株式会社	なし	業務の委託、出向者の受入れ	マネジメント業務の委託（注3）	7,930	未払費用	8,723
				出向（注4）	13,900	—	—

（注3）業務の委託については、一般取引先と同様の条件をベースに交渉の上決定しております。

（注4）出向については、出向元の賃金をベースに交渉の上決定しております。

8. 1株当たり情報に関する注記

1株当たりの純資産額	9,822 円	49 銭
1株当たりの当期純損失	177 円	50 銭

9. 収益認識に関する注記

（顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報）

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記「（2）収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。

第 1 期

附 属 明 細 書

自 2025年 12月 8日
至 2026年 3月31日

AICHIウォーター株式会社

1.有形固定資産の明細

(単位：千円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額
有形 固定資産	建物附属設備	—	1,656	—	21	1,634	21
	計	—	1,656	—	21	1,634	21

2. 販売費及び一般管理費の明細

(単位：千円)

科 目	金 額	摘 要
法 定 福 利 費	15	
福 利 厚 生 費	51	
荷 造 運 賃	6	
広 告 宣 伝 費	210	
交 際 費	17	
旅 費 交 通 費	155	
通 信 費	31	
消 耗 品 費	2,120	
水 道 光 熱 費	11	
支 払 手 数 料	40	
リ ー ス 料	269	
保 険 料	1,474	
租 税 公 課	428	
支 払 報 酬 料	3,800	
減 価 償 却 費	21	
出 向 負 担 金	13,900	
業 務 委 託 料	7,930	
計	30,483	